



◇ 「あいさつ」について考えてみましょう。

なぜ、人はあいさつをするのでしょうか？語源を調べてみると、挨拶（あいさつ）の「挨」には、心を開くという意味があり、「拶」には、心に近づくという意味があります。要するに、あいさつとは、自分の心を開くことで相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な行為です。

通学途中、すれ違う面識のない相手に挨拶はしません。これは皆同じだと思います。しかし、学校に一歩足を踏み入ると、あいさつを交わします。これは、どういうことなのでしょう。

あいさつは、やはり相手を認める最初の言葉なのです。毎日学校という組織の中で、共に学び、共に生活し、影響し合う、私たちは相手を認めた仲間だということです。けれども、日常の学校生活の中で出会う人（先輩、教師、関係者など）にあいさつは出来ていますか？その日、はじめて会ったのに無言ですれ違う、これは寂しいことです。

何度でも、あいさつしましょう！あいさつを、ポケット一杯に準備しておいて、一日を過ごしましょう！“親しき仲にも礼儀あり”という言葉があるように、一番親しき仲にある家族に、何気ないあいさつの一語を一滴にして、波紋が広がるように、出会う相手をまずは自分から認めていく心を持ちましょう。そのたった一言の、あいさつをするという行動は、きっとあなたの生きる力となって返ってくると思います。

- ・あいさつの「あ」は、明るく元気に！
- ・あいさつの「い」は、いつも！
- ・あいさつの「さ」は、先に！待つのではなく！
- ・あいさつの「つ」は、伝わるように！

神大附属に一歩足を踏み入ると、そこには人を幸せな気持ちにさせる、あいさつの花がいっぱい咲いているような、そんな学校にしていきましょう！

附属での日々が、価値ある6年間となり、将来、グローバルキャリア人として社会に通用する為にも、この中等のこの時期に、実践しておかなければならない礼節（行動・作法・礼儀）があると思います。

生徒会では、今後も「あいさつ運動」が予定されています。さわやかなあいさつを交わしましょう！

◇ 部活動について

「学校生活のためのハンドブック」を再度、各部で確認しておきましょう。

- 1、朝練の終了時間及び放課後の下校時間が守られていない現状があります。これは、各部の自主性において厳守してください。今後も守れないようであれば、規則を作らなければなりません。
- 2、練習場所、部室、またその周辺を、きれいに使いましょう。使用場所の清掃は、練習の一環です。
- 3、用具を大切にしましょう。用具がなければ部活動は成り立ちません。逆に用具を粗末にするなら、そのスポーツをする資格はありません。何故なら、そのスポーツに失礼にあたるからです。

◇ 兔原祭後について

大人の付添いや監督なしで中学生が飲食店等で会合を開くことは望ましくありません。打ち上げ目的での集まりや会合は自粛してください。